

教育省、高等教育機関による学資援助関連の違法行為疑惑に対応する
学資援助監視ユニットを編成（2月8日）

教育省（Department of Education）は2月8日、オバマ政権が推進する学生及び納税者を保護する取組みの一環として、高等教育機関による違法行為疑惑に迅速且つ効率的に対応する「学資援助監視ユニット（Student Aid Enforcement Unit）」を編成することを明らかにした。本ユニットは、消費者保護局（Bureau of Consumer Protection）主任訴訟弁護士などの経歴を持つロバート・ケイ氏（Robert Kaye）が主導し、連邦学資援助局（Office of Federal Student Aid : FSA）の管轄下に置かれる。オバマ大統領は、FSAによる監視・監督業務の強化のために、2017年度予算では前年度予算に1,360万ドルの増額を要求している。同ユニットは、①調査グループ、②ローン利用者弁護グループ、③行政措置・不服申立サービスグループ、④クラリー・グループ（大学に対して犯罪統計公開義務順守の徹底）、の4部門で構成され、提携する州及び連邦政府機関と協力して、違法行為疑惑のある高等教育機関に対する訴訟を起こすことになる。

Department of Education, Student Aid Enforcement Unit Formed to Protect Students, Borrowers, Taxpayers
<http://www.ed.gov/news/press-releases/student-aid-enforcement-unit-formed-protect-students-borrowers-taxpayers>